

令和4年度 よこはま 夢ファンド 報告書



横浜市

よこはま夢ファンド制度の概要

『よこはま夢ファンド』（横浜市市民活動推進基金）は、ふるさと納税制度を活用した、市民活動を財政的に支援するための基金です。

令和4年度も『よこはま夢ファンド』にたくさんのご寄附をいただきました。ありがとうございました。

このたび、令和4年度の活用状況についてご報告いたします。

これからも皆さまのお気持ちを大切にしながら、地域や社会に欠かせない市民活動を応援してまいります。

今後とも『よこはま夢ファンド』をよろしく願いいたします。



よこはま夢ファンドの仕組み

皆さまからのご寄附は、よこはま夢ファンド（横浜市市民活動推進基金）に積み立て、よこはま夢ファンドにあらかじめ登録しているNPO法人への助成や、組織運営・資金調達などの各種講座等の開催などに活用させていただいております。

市民の皆さま、企業の皆さまなどからのご寄附

「よこはま夢ファンド（横浜市市民活動推進基金）」に積み立てます

登録団体への支援

●登録団体助成金

登録団体に対して事業費の助成を行います。福祉、環境、まちづくり、文化・スポーツなど、登録団体が実施する幅広い分野の活動を財政的に支援します。

●組織基盤強化助成金

登録団体が、安定的・継続的に運営を行うために、「人材」「資金」「情報」などの資源を充実させ、組織の力をつけていくための取組に助成します。

市民活動団体への支援

●各種講座の実施

組織運営、資金調達等に関する講座を定期的に行い、市民活動団体の活動を支援しています。

◆外部委員による審査について

各種助成金の申請については、次の審査会で審査を行います。

- ・横浜市市民協働推進委員会
- ・横浜市市民活動運営支援事業部会

よこはま夢ファンドの特色

特色1

寄附の際、支援したいNPO法人の団体名や活動分野を希望できます。

【 団体 】

登録しているNPO法人 256団体（令和5年8月末現在）

※よこはま夢ファンドのホームページに、登録団体の一覧が掲載されています。

【 活動分野 】

- ① 保健・福祉・子ども（保健・医療、福祉、子どもの健全育成）
- ② まちづくり・環境（まちづくり、環境、災害救援・地域安全、市民活動支援、農山漁村又は中山間地域振興）
- ③ 文化・スポーツ（生涯学習・社会教育、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、科学技術）
- ④ 国際・人権・平和（国際交流・国際協力、人権・平和、男女共同参画）
- ⑤ 経済・観光振興（情報化社会、経済活動・消費者の保護、職業能力開発・雇用機会拡充、観光振興）

特色2

寄附していただくと税制優遇制度を利用できます。（ふるさと納税）

（個人の場合は所得税・住民税の控除、法人の場合は全額損金算入）

— ふるさと納税とは？ —

自分の選んだ自治体に寄附（ふるさと納税）を行った場合に、寄附額のうち2,000円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が税額控除される制度です。

（一定の上限はあります）

ふるさと納税額(寄附金額) (例:個人の方の場合)

所得税の控除額 (寄附金額-2,000円) × 所得税の税率	住民税の控除額 基本分(寄附金額-2,000円)×10%(住民税の税率) + 特例分 住民税所得割の2割が上限	自己負担額 2,000円
--	---	------------------------

・所得税の控除の対象となる寄附金額は、総所得金額等の40%が上限です。

・所得税率は課税所得に応じて異なります。

・住民税の控除(基本分)の対象となる寄附金額は、総所得金額等の30%が上限です。

※寄附金控除を受けるには税務署で確定申告を行うか、ワンストップ特例申請書を提出する必要があります。詳細は総務省等のホームページをご確認ください。

— 返礼品について —

一定額以上をご寄附いただいた市外在住の寄附者の方には、寄附金額に応じて返礼品をお送りしています。

寄附メニューに共通してお選びいただける返礼品の詳細は、横浜市ホームページ「横浜市への寄付『ふるさと納税』」をご参照ください。

(<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/shisai-takarakuji-kifu/kifukin/kyoutsuhenreihin.html>)

令和4年度 よこはま夢ファンドの報告

－ 収入の部 －

＜令和4年度にいただいたご寄附＞ 件数 612件 総額 31,999,737円

希望する団体への寄附	595件	計	30,291,937円
------------	------	---	-------------

希望する活動分野への寄附	6件	計	1,357,000円
--------------	----	---	------------

分野別内訳	保健・福祉・子ども	保健・医療、福祉、子どもの健全育成	4件	1,317,000円
	まちづくり・環境	まちづくり、環境、災害救援・地域安全、市民活動支援、農山漁村又は中山間地域振興	0件	0円
	文化・スポーツ	生涯学習・社会教育、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、科学技術	0件	0円
	国際・人権・平和	国際交流・国際協力、人権・平和、男女共同参画	2件	40,000円
	経済・観光振興	情報化社会、経済活動・消費者の保護、職業能力開発・雇用機会拡充、観光振興	0件	0円

希望の分野や団体を指定しない寄附	11件	計	350,800円
------------------	-----	---	----------

※創設～令和5年3月までに、
合計4,542件 総額429,473,236円
の寄附をいただいています。

お名前と金額の公表をご了解いただいた寄附者の皆様 ※順不同

益子 道子 様	100,000円	三角 忠 様	50,000円
井上 祐治 様	17,000円	山原 尚美 様	10,000円
宇都宮 佑亮 様	500,000円	山仲 由里香 様	17,000円
井元 健太 様	8,400円	寺嶋 之朗 様	150,000円
横川 秀男 様	118,500円	小貫 大輔 様	220,000円
夏原 馨 様	5,000円	小林 淳志 様	150,000円
花房 三千雄 様	10,000円	松浦 博之 様	17,000円
吉崎 泰光 様	31,000円	松田 孝之 様	15,000円
久保田 龍土 様	100,000円	松本 晴恵 様	10,000円
牛之浜 吉継 様	16,000円	上村 隆 様	20,000円
金子 有一 様	100,000円	森 耕太郎 様	150,000円
熊谷 美江子 様	20,000円	諏訪 隆三 様	30,000円
高草木 勲 様	10,000円	石田 麻衣 様	50,000円
高田 邦久 様	150,000円	前田 治 様	40,000円
根岸 秀行 様	10,000円	倉本 宣 様	100,000円
佐藤 治 様	111,000円	藻利 壤 様	32,000円
佐野 修 様	15,000円	村松 聡 様	15,000円
斎木 隆士 様	50,000円	大久保 豪 様	10,000円
坂本 憲治 様	10,000円	池永 秀幸 様	300,000円

中尾 聡志 様	10,000円	平井 裕二 様	10,000円
塚本 航 様	20,000円	平元 周 様	100,000円
天野 裕 様	70,000円	峯岸 恭博 様	35,000円
田口 繁雄 様	10,000円	本多 哲也 様	19,000円
渡辺 健 様	200,000円	木下 美子 様	2,000円
島田 宏 様	50,000円	木下 利幸 様	20,000円
筒井 純一 様	10,000円	木下 瑠美子 様	100,000円
内山 勝文 様	82,000円	矢葺 大地 様	12,000円
日原 雄樹 様	10,000円	林 重克 様	50,000円
尾上 浩一 様	80,000円	鈴木 孝太郎 様	10,000円
福田 みほ 様	300,000円	廣井 敬三 様	65,000円
よこはまシニア ボランティアポイント事業 ボランティア登録者 2名様分 株式会社 エムシースクエアド 代表 二本柳 剛 様	2,800円	神奈川福祉事業協会 会長 伊坂 重憲 様	1,000,000円
株式会社 バイオクロマト 代表取締役 木下 一真 様	1,000,000円	一般社団法人 雇用創出支援機構 様	1,000,000円
		一般財団法人 よこしんふれあい財団 理事長 大前 茂様	1,000,000円

お名前の公表をご了解いただいた寄附者の皆様 ※順不同

Hentzschel Simon 様	横山 義宏 様	宮城 保人 様	高橋 諄 様
井上 美樹 様	横山 統一 様	宮川 めぐみ 様	高崎 龍 様
榎本 守 様	加藤 邦夫 様	宮地 茂樹 様	高倉 浩平 様
スローマン ニコラス 様	加藤 麟太郎 様	牛越 信雄 様	高木 規行 様
デニスラム 宏美 様	加納 健 様	牛之浜 吉継 様	高野 隆司 様
寺本 義武 様	夏井 敬史 様	橋爪 啓子 様	高濱 隆幸 様
船田 松代 様	梶田 哲 様	駒野 大樹 様	黒坂 亜貴 様
武藤 啓司 様	関 佳史 様	隅田 都保美 様	黒野 康生 様
安斎 恭彦 様	丸永 祐子 様	熊本 卓也 様	今野 義之 様
安田 由果 様	岩瀬 秀臣 様	栗原 進 様	佐藤 恵 様
安藤 竜一 様	岩崎 輝行 様	君嶋 哲也 様	佐藤 伸哉 様
伊藤 秋津 様	菊池 和雄 様	古市 明久 様	最上 重夫 様
伊藤 和徳 様	吉永 陽子 様	江頭 辰夫 様	最上 真理子 様
井上 貴博 様	吉岡 泰男 様	荒井 摂子 様	斎藤 晶子 様
磯島 祐男 様	吉倉 美順 様	荒川 静司 様	坂田 辰男 様
烏頭尾 尚 様	吉田 京子 様	高橋 英里奈 様	三宅 はつえ 様
永野 健一 様	吉野 茂紀 様	高橋 豊明 様	三品 恭子 様
永野 康子 様	久保田 恵介 様	高橋 翔 様	三富 千恵子 様

山口 剛史 様	清水 恵子 様	中戸川 馨 様	飯塚 純子 様
山口 大輔 様	清水 大樹 様	中津 大介 様	飯塚 正宏 様
山口 秩香子 様	西垣 真澄 様	長井 麻美 様	福岡 妃早子 様
山口 祐二 様	西山 雄二 様	長南 昌彦 様	福元 晃 様
山中 正竹 様	西川 和樹 様	津村 哲 様	福田 憲明 様
山本 経国 様	西尾 早知子 様	塚本 亜紀 様	平賀 伸一 様
山本 健太 様	石井 良輔 様	塚本 友花 様	平野 岳 様
市川 悦子 様	石田 恵 様	坪井 元 様	片山 優 様
市川 敦史 様	赤沼 大史 様	田中 薫子 様	豊田 茂芳 様
志賀 大輔 様	千原 遠見彦 様	田幡 秀之 様	本橋 篤 様
児玉 直之 様	千原 由美子 様	渡辺 聡太 様	満仲 由紀子 様
児島 ゆう子 様	千代 継 様	渡辺 洋介 様	柳本 瑞枝 様
出口 武志 様	千代 康 様	都坂 和真 様	有沢 嘉英 様
小山 晴也 様	川原井 晋平 様	ラーソン ジャスティン コリアー 様	林 恵子 様
小山 哲哉 様	川原井 麻子 様	土井 裕一朗 様	林 諭 様
小野山 章久 様	川島 慎也 様	土田 和嘉子 様	鈴木 啓人 様
小林 健吾 様	前田 忠彦 様	島田 恒平 様	鈴木 直亮 様
小林 彩乃 様	村松 貴之 様	島田 頼子 様	和久井 健司 様
小林 収 様	村田 重剛 様	島田 頌 様	櫻井 育子 様
小林 良太 様	太田 弘 様	桃井 芳晴 様	澤 祥幸 様
松下 裕二 様	太刀川 英輔 様	湯浅 一郎 様	澤田 眞治 様
松山 昌弘 様	大越 公 様	藤本 陽 様	齋藤 悟 様
松田 恭和 様	大橋 亮司 様	徳田 千穂 様	齋藤 聖子 様
森 二郎 様	大場 誠司 様	内藤 達夫 様	虻川内 亜也美 様
森戸 春樹 様	大脇 聡史 様	入江 康文 様	齊藤 剛毅 様
森平 直子 様	滝田 広之 様	馬立 歳久 様	濱本 成則 様
神田 昌実 様	谷口 健治 様	梅田 英樹 様	
神保 礼司 様	池戸 克之 様	白松 浩 様	
水嶋 幸司 様	池内 野有 様	薄井 優 様	
HAL行政書士事務所 田代 さとみ様	横浜市立松本中学校二卒会 大島 正夫 様	日本ウッドブリッジ 株式会社 様	NOSIGNER 株式会社 様

多くの皆さまから
たくさんのご寄附をいただきました。
ありがとうございました。

令和4年度 よこはま夢ファンドの報告

－ 支出の部 －

登録団体助成金

44事業に、総額16,527,463円を助成

子育て支援、国際交流、子ども教育、環境についての啓発など、登録団体が実施するさまざまな取組に助成しました。

令和4年度 第1回 登録団体助成金

	団体名	事業内容	金額
1	ひだまりの森	子育て期の相談 相談員【リスナルケアラー初級】養成事業～コロナ禍での子育ての変化に気づく力・聴く力を養う～	100,000円
2	ミニシティ・プラス	ミニヨコハマシティ再スタート2022	1,000,000円
3	肺がん患者の会ワンステップ	がん医療の啓蒙及び広報に関する事業 肺がんBOOK VOL.7 作成	500,000円
4	カウンセリングオフィスSARA	低所得者向けメンタルヘルス事業	1,386,200円
5	青空保育ぺんぺんぐさ	青空保育ぺんぺんぐさの保育事業と子育て支援事業	1,500,000円
6	スーリールファム	「楽しむ」「つながる」地域の拠点づくり	128,000円
7	オールさこんやま	団地と大学生の地域活性化協働事業	237,000円
8	YOKOHAMA TKM スポーツ&ヘルスケア	法人主催の戸塚区周辺住民の方々に向けた運動教室の実施	268,832円
9	横浜発明振興会	NPO法人横浜発明振興会事業	340,000円
10	はぐくみ心理相談所	就労意欲がある低所得者への社会復帰支援プロジェクト(2020年度よりの継続3年目)	360,000円
11	横浜シュタイナーこどもの園を育てる会	子育て支援事業 ひろば活動 (親子の交流会・オンライン講座・人形劇・手仕事交流会・小学生クラス)	690,000円
12	くでん学童	学童保育 通所エリア拡大・通所支援、社会貢献事業	1,676,786円
13	Umiのいえ	メールや電話による無料相談事業	320,000円
14	ちゅーりっぷ	特集号発行事業	50,000円
15	横浜金沢カヌークラブ	カヌースクール事業	50,000円
16	DO THE MOTION	子ども食堂「なないろのあした食堂」	50,000円
17	Small Step	医療的ケア児の就園・就学のための移行支援	50,000円
18	よこはま里山研究所	活動拠点「はまどま」の持続的な運営に向けた仕組みづくり	700,000円

令和4年度 第2回 登録団体助成金

	団体名	事業内容	金額
1	ファゼール・ボン	<絵本・紙芝居が紡ぐ日越文化交流>事業	231,897円
2	ピースデポ	平和の実現を目指す調査・研究、出版及び啓蒙活動	1,950,000円
3	こんにちは・国際交流の会	広報事業(ホームページ維持管理)	68,000円
4	WE21ジャパン・旭	WE21ジャパン・旭20周年記念誌作成事業	20,000円
5	ミニシティ・プラス	特命子ども地域アクタープロジェクト2022	424,000円
6	カウンセリングオフィスSARA	市民講座事業	114,400円
7	海の森・山の森事務局	プラごみのない100年前の海をみんなで取り戻せ! みんなで力を合わせてマイクロプラスチック撲滅と万華鏡フォトコンテスト	1,003,000円
8	YOKOHAMA TKM スポーツ&ヘルスケア	女子ラグビー選手によるラグビー指導を通じた地域での普及育成活動	481,848円
9	アジア図書館ネットワーク	アジア諸国への図書寄贈	100,000円
10	かながわスポーツボランティアバンク	講演会の開催	90,000円
11	H&K	横浜市農業専用地域での「野菜の収穫体験」及び地産地消活動	50,000円
12	JECK	国際理解 英会話教育	50,000円
13	どろん子会	地域の子育て支援事業 地域の親子おさんぽ会他	50,000円
14	音楽の力・SAWA音楽事務所	フレイル予防・活力発現プロジェクト	50,000円
15	横浜港南国際交流の会	外国につながる子ども達への支援・交流事業	77,000円
16	エバーラスティング・ネイチャー	ウミガメ保全のための普及啓発事業	50,000円
17	日本の竹ファンクラブ	竹の学校事業「親子体験講座」	40,000円

令和4年度 第3回 登録団体助成金

	団体名	事業内容	金額
1	よこはまチャイルドライン	子どもの電話・オンライン事業	500,000円
2	ひだまりの森	支援者のための勉強会～「子育て期の相談」を通して考えるコロナ禍の子育て～	80,000円
3	コドモトナリ	フリースペースの受入れ拡大支援事業	92,500円
4	スマイルオブキッズ	滞在施設運営事業	560,000円
5	横浜こどものひろば	人間に出会う舞台芸術体験	230,000円
6	アスリード	キャリア教育支援を通じた若者の「未来を生き抜く力」の指標化への基盤づくりならびにアンケート調査に基づくレポート(報告書)の公開・発信	650,000円
7	みんなのお箸プロジェクト	団体パンフレット制作	63,000円
8	街の家族	街の家族の運営及び関連事業の実施 コロナ後の新生活環境、三世代が力と想いを合せる地域の生活福祉事業	50,000円
9	日本防具空手道連盟	防具空手教室事業	45,000円

組織基盤強化助成金

5団体に、総額1,494,000円を助成

継続して活動を続けていくための「体制づくり」の強化を図る取組、組織の人材育成、広報の強化など、登録団体の組織基盤を強化させる取り組みに助成しました。

また、取組の効果を高めるために横浜市からファシリテーターを派遣し、助成団体が組織・活動を自己評価する機会を設け、6団体に対し実施しました。さらに、ファシリテーターの経験談や他団体の自己評価の実施状況を共有することで、組織基盤強化に向けたヒントや気づきを与える機会として、情報交換会を開催しました。

令和4年度 組織基盤強化助成金

自己評価実施団体

団体名	事業内容	金額	団体名
1 みんなのお箸プロジェクト	小学生向け箸の持ち方リーフレット制作	300,000円	1 コドモノトナリ
2 スペースナナ	地域にちいさな交流拠点をつくらうプロジェクト	300,000円	2 RCB大口夢
3 森ノオト	資金調達のための寄付事業の基盤強化・広報力強化	294,000円	3 JECK
4 アスリード	組織基盤強化のための中長期計画(5カ年)策定 及び ホームページ改修	300,000円	4 エバーラスティングネイチャー
5 横浜港南国際交流の会	アクティブグループの拡充	300,000円	5 H&K
			6 きみたす

各種講座の開催

団体の組織運営に関する講座を、市民協働推進センターと協働で実施しました。

令和4年度の実績

講座名	講座開催数	延べ参加者数
組織基盤強化ワークショップ	2回	26名
ファンドレイジング講座	1回	32名

講座を受けた団体の声

- ・同じテーマで悩んでいる団体と連携を取ることで、活動の質の向上が出来ると思いました。
- ・中長期の計画・目標等の重要性、広報の重要性等に気づき、団体内で共有したいと思います。
- ・組織内のメンバーが思っている課題について、自分が考えている課題と共通である部分と、異なる部分とがあり、新たな気づきにつながりました。

助成金を活用した事例紹介

登録団体助成金を活用した団体の声

ミニシティ・プラス ミニヨコハマシティ再スタート2022

コロナ禍でこどもたちの体験活動が休止する中、ミニヨコ再出発の年として位置づけ、こども運営委員を改めて募集しました。子どもたちが、自分たちの理想のまちを作るためのアイデアを出し合う事前会議を重ね、実際に人数限定で数日間の「ミニヨコハマシティ」をつくり運営するプロジェクトを、横浜市庁舎のアトリウムで開催しました。2月に千葉県市川市で行われた「U19こどものまちサミット」にミニヨコ市民が参加し、他県の子どもたちと交流するなど、こどもの地域社会への参画を推進する活動を多くの人に広く知ってもらうことができました。



青空保育ぺんぺんぐさ 青空保育ぺんぺんぐさの保育事業と子育て支援事業

ご寄附ありがとうございます。
私たちは、保育士の元で保護者も協力し合い、「ひとりで子育てしないで」を合言葉に、「自然の中でのびのびとした育ち合い」の青空保育活動(預かり保育)をしています。広く地域に向けて育児支援や情報発信も行い、本会主催の講演会や外遊び体験会および保護者発案の写真展に5,986組の参加をいただき、古くて新しいおたがいさまののびのび子育て、外遊びの大切さを広く知ってもらう機会になりました。



横浜シュタイナーこどもの園を育てる会 子育て支援事業 ひろば活動 (親子の交流会・オンライン講座・人形劇・手仕事交流会・小学生クラス)

手仕事と親子の交流を楽しむ「てしごとひろば」を始め、子育てや子どものいる生活に役立つ講座・小学生のためのアート体験・人形劇の出張開催など、多岐にわたる活動を通し、地域の子育て世帯や子どもに携わる多くの方々に参加していただくことができた1年でした。1回から参加でき、継続して通い続けることも可能な、地域の交流拠点として今後もあり続けたいと思います。



こんにちは・国際交流の会 広報事業(ホームページ維持管理)

ご寄附、ありがとうございました。
当会は日本語教育事業・国際交流事業・国際理解事業」を中心として活動しています。
以前は、夢ファンド助成金を活用して、日本語学習者のバス研修旅行を実施し、大変好評でした。しかしコロナ禍で国際交流事業は中止を余儀なくされました。そこで、令和4年度はHPの維持管理に助成金を活用させて頂きました。おかげさまで多くの方々に活動実態を発信し、支援を続けていただくことができました。今後とも、よろしくお願いいたします。
<http://www.konnichiwa.org/>



アジア図書館ネットワーク アジア諸国への図書寄贈

当団体の事業目的は、国内で処分される図書およびアジア諸国で必要とされる図書は共に膨大であり、その両者の橋渡しを行うことです。アジア諸国の主な寄贈先は、図書館と日本語学校が対象です。令和4年度事業実績は以下の通りです。
図書収集: 240冊(個人蔵書3件)
図書寄贈: 188冊(中国 暨南大学30冊、台湾 政治大学図書館87冊、ベトナム さくら幼稚園36冊、ベトナム Café ARIGATOU35冊)



横浜港南国際交流の会 外国につながる子ども達への支援・交流事業

ご寄附、ありがとうございました。
皆様のご寄附を、外国につながる子ども達への支援・交流事業(4事業)に活用させて頂きました。
(1)港南区のイベント「こうなん子どもゆめワールド」への参加、
(2)日本語を母語としない小中学生への学習支援、
(3)外国につながる高校生のフリースペースの開設、
(4)日本語教室学習者のための託児
お陰様で延べ470人の方々が利用され、喜ばれました。今後も継続し、充実を図ります。



エバーラスティング・ネイチャー ウミガメ保全のための普及啓発事業

ご寄付をいただき、誠にありがとうございました。
2023年2月26日にかながわ県民センターにて、普及啓発イベント「小笠原ナイトウミガメ教室in横浜」を開催しました。
普段は小笠原海洋センターで行っているプログラムを横浜で開催することにより、馴染みのある生き物であるウミガメを通して環境問題について考える機会を市民の皆様にご提供することができました。
今後も継続的にこのようなイベントを開催したいと考えております。
<https://www.elna.or.jp>



スマイルオブキッズ 滞在施設運営事業

神奈川県立こども医療センターには、難病治療のため自宅を離れて入院する子どもたちが多くいます。当法人では、そのようなご家族のための滞在施設「リラのいえ」を運営しています。医療センターから徒歩5分、1泊1,000円で利用できます。同じ立場のご家族同士が交流することもでき、経済的、精神的負担を軽減しています。また、同施設内にある保育室で、診療室や病棟に入ることのできない「きょうだい児(患者の兄弟・姉妹)」をお預かりしています。



横浜こどものひろば 人間に出会う舞台芸術体験

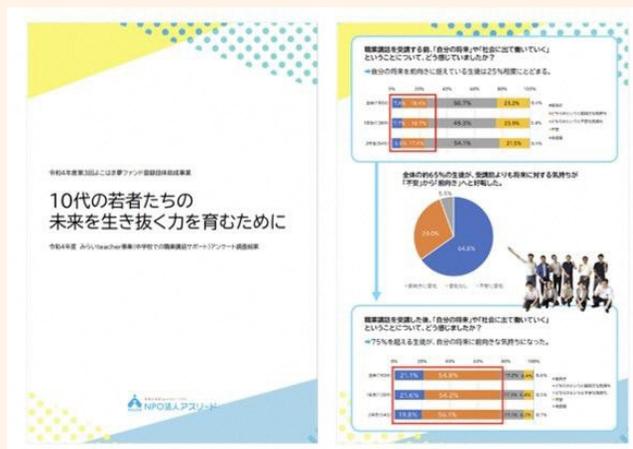
「横浜こどものひろば」は芸術文化の力で人間への信頼と自己肯定感を育み共感する楽しさ、コミュニケーション力を育てたいと活動をしています。

令和5年3月に実施した高学年向け人形劇は、鬼のいない鬼ヶ島で繰り広げられる「もう一つの桃太郎伝説」です。多感な時期を過ごしている若い世代に、作品を通して様々なことを考えるきっかけをつくることができました。



アスリード キャリア教育支援を通じた若者の「未来を生き抜く力」の指標化への基盤づくりならびにアンケート調査に基づくレポート(報告書)の公開・発信

アスリードでは年間約30校の中学・高校で、地域で働く社会人のキャリア(生きる・働く)にふれ自分の将来を考える「職業講話」の企画・運営を行っています。今回の助成で、講話に参加した1,934名の生徒たちの感想や意識の変化をアンケートにて集計しました。将来に対する「前向きな気持ち」が受講前の25%から受講後75%に上昇する結果となり、10代の若者と第三の大人が出逢う「キャリア共育」の重要性を発信することができました。ご支援、ありがとうございました！



みんなのお箸プロジェクト 団体パンフレット制作

ご寄付ありがとうございます。
団体紹介パンフレットが無い状態にあった中、
今回の助成金で団体パンフレットを制作するに至り
改めて活動を見直す機会にもなりました。
横浜市内各所に配布することで、
当団体への認知度と理解度が高まりました。
更に、メンバから一は
「おかげで団体の活動説明が容易になり、
理解も得やすくなった」との意見が出て、
各自のモチベーションも上がりスキルアップにも
繋がりました。



街の家族 街の家族の運営及び関連事業の実施 コロナ後の新生活環境、 三世代が力と想いを合せる地域の生活福祉事業

当団体は、空き家になっていた一軒家を利用し、
「どんな時もつながり合える 街の家族」として、
三世代が普段着で過ごせるコミュニティハウスを運営しています。
12月:冬休み企画<あそぼう>奈良川源流のはらっぱ公園
1月:鏡ビラキ、2月:節分、シニアとペアで恵方巻づくり、豆まき
3月:入園・入学おめでとう などのイベントを開催しました。
幼稚園児だけではなく、
先輩である小・中学生のお兄さん・お姉さんも加わり、
にぎやかな街の家族の年度の閉めとなりました。
今回は初めて助成金を申請し、高騰が続いている光熱費・事業消耗品に活用させて頂きました。



組織基盤強化助成金を 活用した団体の声

みんなのお箸プロジェクト 小学生向け箸の持ち方リーフレット制作

当団体は、伝統的な箸の持ち方とその意味を子どもたちへ伝えております。
活動範囲を広げるため簡単な小冊子が必要不可欠という課題を抱えており、解決策として、
小学校の総合学習の授業にも活用して頂けるリーフレットを制作しました。
前年度の自己評価で学んだ事を活かし、制作チームを編成することで、メンバーの個性に合った
適材適所の配置やコミュニティ作りも実践し、団体外の方の協力者が増えました。

制作出来た1万部は、横浜市内の小学校への配布を進めています。
また、リーフレットと連動した動画(一部英文テロップ入り)も制作し、国際社会に向けて誰にでもわかりやすく
構成しました。

<https://minnano084.com/kids/ohashi movielist/>

スペースナナ

地域にちいさな交流拠点をつくろうプロジェクト

設立から13年、メンバーの高齢化が一番の課題でした。夢ファンドの組織基盤強化助成を受けて、まず課題解決のワークショップを開催しました。スタッフそれぞれの思いや意見を出し合い、その後、活動内容の分析や今後の活動についての提案など、定期的なミーティングでメンバーと共有することを重ねました。その過程で「夢をかなえたい人を応援する」という団体としてのミッションを再確認しました。スペースナナに関心のある若手のメンバーに、やりたいこと、取り組みたい課題を発表してもらう機会を作り、助成金申請を手伝いながらそのプロジェクトを応援することから始めました。その中で、二人の若い理事が生まれ、子どもや子育て世代のための居場所づくりのプロジェクトが新たにスタートし、若い人の視点を反映したHPの改訂やリーフレットの制作もできました。

森ノオト

資金調達のための寄付事業の基盤強化・広報力強化

活動の根幹の「メディア事業」は、創刊初期より寄付による運営を謳ってきましたが、スタッフ内での寄付の価値の言語化が十分でなかったこともあり、寄付者数、寄付額ともに伸びないという課題がありました。本助成を受けて、月1回の専門家によるファンドレイジング相談、Google Ad Grants※運用、デジタルファンドレイジング講座参加の3本柱に取り組みました。その結果、新しいスタッフも含めて、森ノオトが寄付でメディア運営することへの共通の理解が深まり、新たにファンドレイジングチームが組織内で立ち上がりました。広報の見直しや寄付ページの改修も進み、令和4年度はマンスリー寄付と単発寄付が前年度に比べプラスとなりました。令和5年年度は法人設立10周年の寄付キャンペーンを実施しており、目標達成できるよう、チーム一丸となって動いていきます。

※ 慈善団体(非営利団体や社会福祉法人、公益社団法人など)が無料で毎月一定額分の Google 広告を配信できるプログラム

アスリード

組織基盤強化のための中長期計画(5ヵ年)策定及びホームページ改修

この度はご寄附いただき誠にありがとうございました。

有難いことに、2019年の設立以来、活動の幅や応援して下さる人の輪が広がってきましたが、団体として今後どのように発展し社会に貢献していくのかというビジョンを明確にする必要性も出てまいりました。

今回助成金を活用し、20回以上の会議を重ねたことで、2030年までの中長期計画及び、一冊にまとめたビジョンブックを作ることができました。また、ビジョンブックをどなたでも見れるようホームページの改修もさせていただきます。

アスリードのホームページ、または下記URLからもご覧いただけますのでご一読いただけますと幸いです。

今後とも次代を担う若者のために、キャリア教育支援を行ってまいります。

皆様のご支援、心より感謝申し上げます。

<https://onl.la/KAvYNNc>

横浜港南国際交流の会

アクティブグループの拡充

当法人は設立後10年以上、横浜市港南国際交流ラウンジの委託事業をベースに安定した運営を続けてきましたが、昨今は役員後継者、新規事業企画者等の不足が見られるようになり、リーダーになり得る人材「アクティブグループ」の拡充を最重要課題として、その解決策を検討しました。

その結果、①内部の情報共有と多様なアイデア出しや意見交換の場として「ほっとミーティング」の開設、②役所、学校、福祉機関等の周辺外部関連機関との連携強化、③会員と利用者増加のためのホームページリニューアル及びSNSの活用並びに外部施設でのPR活動の充実などを、プロボノの支援を得ながら進め、会員間の課題の共有、新事業の創出等の成果を得ました。

今後とも取り組みを続け、アクティブグループを拡充していきます。

よこはま夢ファンドへのご寄附の方法

寄

金融機関での 納付書払い

下記①②のいずれかの方法で
お申し込みください。

①寄附申込書をホームページより
ダウンロードし、必要事項を記入の上、
市民局市民協働推進課までお送りください。
(郵送、e-mail、FAX等)

URL:

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/shien/yumefund/default2021080203.html>

②よこはま夢ファンド寄附申込フォームで
必要事項を直接入力し、送信してください。

URL:

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/e6f0e6ab-86d5-4f5c-9b0a-0dddf6a899ade/start>



届いた「納付書」で近くの金融機関
窓口でお手続きしてください。

※「納付書」は申込後、1~2週間ほどで
お送りします。

附

クレジットカード払い マルチペイメント払い

(コンビニ決済、インターネットバンキング等)

下記のページのお好きなふるさと納税
ポータルサイトから、お申し込みください。

URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/shisai-takarakuji-kifu/kifukin/kifu001.html>

寄附の申込 横浜市

検索



選ばれたふるさと納税ポータルサイト
内よりお支払い方法を選択し、お支払
いください。



寄附金の使い道について、ご希望がある
場合は、【必ず】下記リンク先の電子申請
システムから申請をお願いします。

URL:

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/24d370d8-25e6-40c7-9eb7-daa3370cf837/start>



横浜市から届く寄附金受領証明書
をお受け取りください。

税
の
控
除

ご自身で確定申告をする場合

寄附金受領証明書または納付書兼領
収書をもとに、税務署にて確定申告の
お手続きをしてください。

ふるさと納税ワンストップ特例制度 の適用をご希望の場合

横浜市あて寄附金額税額控除に係
る申告特例申請書を提出してくださ
い。

※ 詳しくは、市民局市民協働推進課「よこはま夢ファンド担当」までお問い合わせください。

TEL 045-671-4734 FAX 045-223-2032

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/shien/yumefund/>

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

令和5年9月発行
発行元:横浜市市民局市民協働推進課
よこはま夢ファンド担当
TEL 045-671-4734



よこはま夢ファンドホームページ
QRコード